



MAKOTO HORII

堀井 誠 ※写真・左

(SUKUMO Leather 代表 / 日本 / 44 歳)

業界の常識を打ち破るマテリアルで 世界に挑む

家業である革製品の製造会社、株式会社ヤングホリイ在職中に、京都で着物などの本藍染を行う浅井ローケツの染師、浅井直幸氏と出会う。「天然灰汁発酵建藍染」にこだわる浅井氏の技術で革を藍染することを発案。当初、皮革業界では動物性の皮に植物性の藍染をすることは技術的に不可能とされていたが、天然灰汁発酵建藍染の技法を採用することで染色に成功。藍の葉を熟成・発酵し生み出される天然染料「スクモ」で染め上げた天然本藍染め革を「SUKUMO Leather」と命名し、ブランドを立ち上げた。SUKUMO Leather は48色以上ある藍色から8色を選定し展開。以後、家具工房とのコラボレーションでイスやソファを製作し、靴メーカーとは革靴やスニーカーを商品化、

ファッションメーカーではジャケット素材に採用されるなど、続々とSUKUMO Leatherを使用したアイテムを世に送り出している。他にも、異業種コラボレーションのひとつとして、真珠の藍染をプロデュース。真珠の核に藍染めの手法を用い、淡い藍色の真珠の養殖に成功した。この藍色真珠は『Louis Vuitton 2016 Men's Collection』でモデルが着用。これを機に世界のラグジュアリーブランドがSUKUMO Leatherに注目をし、現在は新たなプロジェクトが進行中。後世に残すべき日本の高い技術によるマテリアル開発、業界の枠を飛び越えたコラボレーションを実現するなど、皮革製造業界及び製造業の同年代経営者や後継者育成の起爆剤となる冒険的活動を講じて。

ほりい・まこと。1971年9月25日生まれ、東京都出身。大学卒業後、横浜の老舗バッグメーカーに入社し、販売員としてエンドユーザーと接した経験を持つ革職人。数年後に家業であり、数多くの有名ブランドの革製品の製造をする株式会社ヤングホリイに入社し、自社技術と経営を学ぶ。2008年には区内産業の優れた製品や技術を認定し、その素晴らしさを全国にPR、ネットワークを広げていくことを目的とした「足立ブランド」の企業に認定された。2015年、天然灰汁発酵建藍染で染色した革ブランド「SUKUMO Leather」の開発を始めて10年となる節目に「株式会社ホリイ」を設立。現在は家具から靴、真珠まで多様な商品開発を手掛けるプロデューサーでもある。業界の枠にとらわれず新しい試みを続けることで、皮革製造業界の活性と技術継承、後継問題に真っ向から取り組んでいる。

